



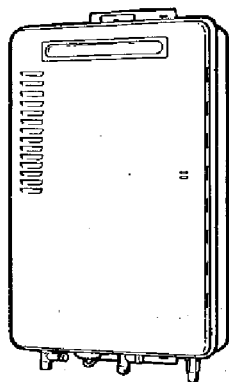
大阪ガス

ガス湯沸器 瞬間式

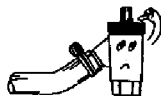
取扱説明書

33 - 440・441・442 型

型式 PH-16CW
PH-16CWL3
PH-16CWL4-2



ガス機器をお使いになるときのご注意



ガス機器を
ご使用になった
あとは必ず
ガス栓も
しめる習慣を



使用中は
熱くなります
手を触れないで
ください!



ガス機器は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよく読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にお問
い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお求めいただきありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

も く じ

●特長	2
●特に注意していただきたいこと	3
●各部の名称	8
●使用手順	9
●断水時・停電時の処置	11
●凍結予防方法	12
●長期間使用しない場合	14
●日常の点検・手入れ	15
●故障・異常の見分け方と処置方法	16
●仕様一覧表	19
●寸法図	20
●アフターサービス	21
●本製品と快適なくらしのために	22

特 長

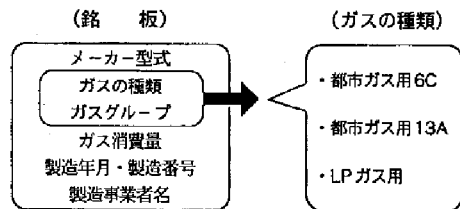
- 1 本体寸法をコンパクトにしました。
- 2 お湯は60℃の恒温出湯タイプで、給湯能力は16号。比例制御で安定した湯温が得られます。
- 3 点火・出湯は給湯栓をあげるだけで、水をまぜて好みの湯温にしてお使いいただけます。
- 4 リモコン（別売）で37℃～75℃までの湯温調節が可能です。
- 5 凍結予防ヒータで、-20℃（無風時）まで機器内の凍結を予防します。

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- 機器（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）以外では使用しないでください。
- 銘板は機体正面フロントカバーに貼ってあります。



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と機器銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

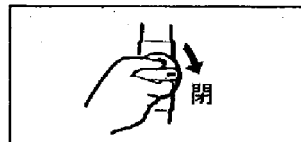
- 電源の電圧と周波数をご確認ください。
この機器はAC100V（50/60Hz共用）です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかご確認ください。

特に注意していただきたいこと②

使用上のご注意

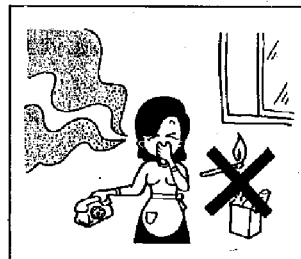
1| ガス漏れ予防

- 長期間使用しないときは、必ずガス栓をしめてください。
- 使用中にガスの臭いや不快な臭いがしないか、ときどき確かめてください。



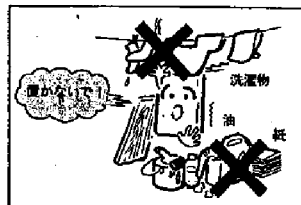
2| ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめて、ガス栓をしめ、窓や戸をあけて、ガスを外へ出してからお求めの販売店または、大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。
- ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他の電気器具に触れたり（スイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差し等）しないでください。



3| 火災予防

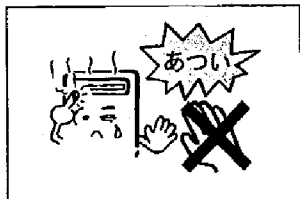
- 機器の上や周囲には燃えやすいもの（洗たく物、ダンボール、揮発油など）を絶対に置いたり、近づけたりしないでください。



特に注意していただきたいこと③

4| やけどのご注意

- 使用中、使用直後は排気口部やその周辺が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。
- 使用後すぐに、再度お使いになるとき、一瞬熱いお湯が出ることがあります。特にシャワーをお使いのときは手で湯温を確かめながらお使いください。



5| 飲料用や調理用にお使いのとき

- 機器内に長時間たまっていた水は、飲料用や調理用に使用しないで雑用水としてください。少し湯（水）を流してからご使用ください。

6| 用途について

- 給湯およびシャワー以外の用途には使用しないでください。

7| 市販の補助具について

- この機器用の付属品、および別売部品以外は使用しないでください。

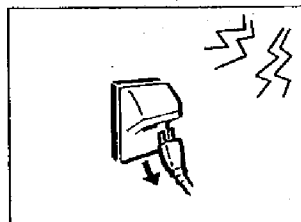
8| 異常時の処置

- ご使用中に普段と違った状態になったときや不具合が生じたときは、あわてずに、給湯栓・ガス栓をしめて十分な点検をしてください。（16～18ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をご覧ください。）

特に注意していただきたいこと④

落雷のおそれのある時

- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源プラグ・コンセントを用いず、直接配線工事されているときは、その回路の電源ブレーカのスイッチを切ってください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



凍結についてのご注意

- この機器には、冬期の凍結による破損予防のために、「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒期には機器内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので、機器内の水が凍るおそれがあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。（詳しくは12～13ページの「凍結予防方法」の項にしたがって処置をしてください。）

特に注意していただきたいこと⑤

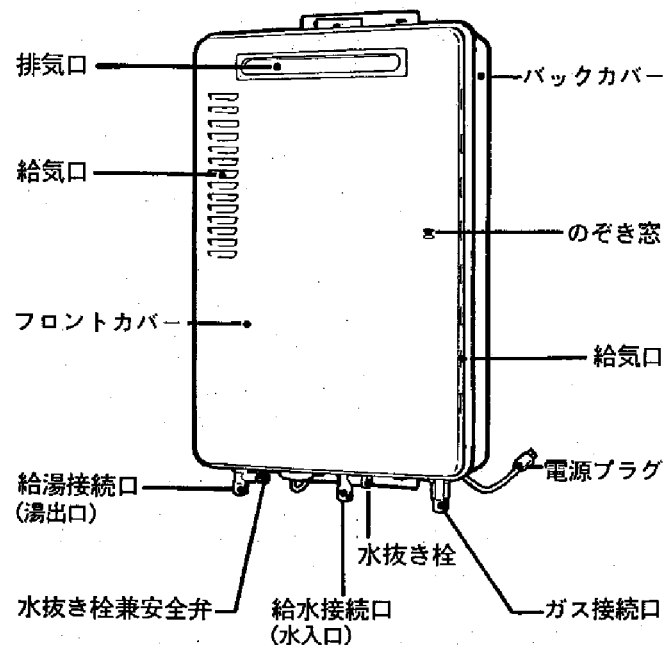
日常の点検・手入れ

- 機器を安全・快適にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ず行ってください。(詳しくは15ページ「日常の点検・手入れ」の項をご覧ください。)

機器の設置・工事

- 機器の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。(詳しくは「工事説明書」をご覧ください。)
- この機器は屋外専用ですので屋内には絶対に設置しないでください。
- 騒音などで近隣の家に迷惑にならない場所に設置してください。

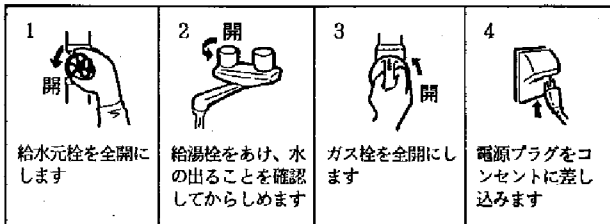
各部の名称



使用手順

使用前の準備と確認

●機器を操作する前に次のことを行ってください。



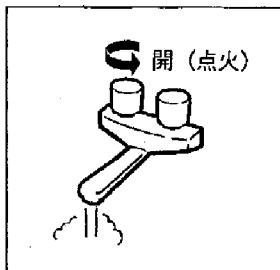
使用方法

1) 点火・出湯 (お湯の出しかた)

●給湯栓をあげると、点火してお湯が出ます

《ご注意》

- ・使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯は出ません。
- ・給湯栓を絞りすぎると消火するようになっていきます。(給湯栓をもっとあけてご使用ください。)
- ・万一、不着火・立消えなどがあれば自動的にガスが止まります。(給湯栓をしめ、しばらく待ってから再度給湯栓をあげてください。)



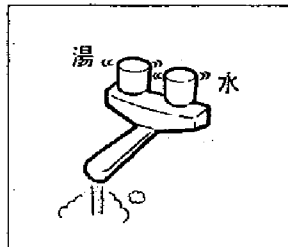
使用手順②

2) 湯温調節のしかた

●混合水栓でお好みの湯温に調節します。
(湯と水を混ぜてお好みの湯温に調節してください。)

《ご注意》

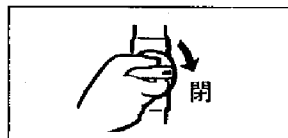
- ・冬期など水温の低いときに、給湯栓を全開にして使用すると、高温にならないことがあります。給湯栓を高温のお湯になるまで絞ってください。
- ・この機器の出湯温度は約60℃ですが約42℃または約75℃にすることもできます。詳しくはお買い求めの販売店、または大阪ガス支社、サービスショップにご相談ください。



3) 消火・出湯停止 (お湯の止め方)

●給湯栓をしめると消火します。

- お出かけやおやすみの際など長時間使用しないときはガス栓をしめておいてください。



断水時・停電時の処置

断水時の処置

- 運転は停止しますが再通水すると自動的に点火します。
(再通水するまで給湯栓をしておいてください。)

停電時の処置

- 運転は停止しますが、水はそのまま出ます。
(再通電するまで給湯栓をしておいてください。)

凍結予防方法

- 冬期には機器内の水が凍結し、機器を破損することがあります。機器が凍結し、破損すると高額の修理費用がかかりますので、次のような処置をして凍結による破損を予防してください。

自動凍結予防装置による方法

- この機器には、万一凍結予防処置を忘れたときや、急な冷え込みのときのために凍結予防ヒータを組み込んでいます。外気温が下がると自動的に凍結予防ヒータが作動し、機器内配管を保温します。

《ご注意》

- ・ 電源プラグは抜かないでください。
(電源プラグがはずれていると作動しません。)
- ・ 停電時や異常寒気ときは、「通水による方法」または、「水抜きによる方法」で凍結予防してください。

通水による方法

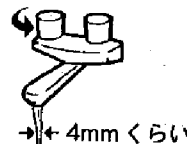
- 機器本体だけでなく、配管・バルブ類の凍結予防に有効です。

- 1 ガス栓をしめます。(電源プラグは抜かないでください。)
- 2 給湯栓をあげ、少量の水(1分間に約200c.c.程度)を流したままにしておきます。



《ご注意》

- ・ 流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流量を確認してください。
- ・ 寒い日には多めに水を流してください。



水抜きによる方法

長期不在・異常寒気の場合は次の手順で機器内の水を抜いてください。

1 ガス栓をしめ、電源プラグをコンセントより抜きます。

2 給水元栓をしめます。

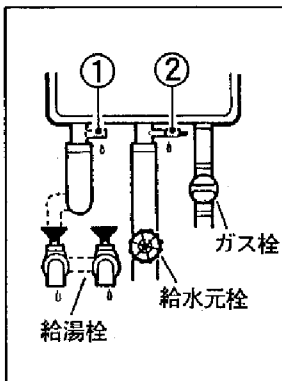
(寒冷地域などで不凍栓使用時は不凍栓をしめ、給水元栓を全開にします。)

3 すべての給湯栓を全開にします。水抜き栓兼安全弁①と水抜き栓②をはずします。水が抜けます。

●再度使用するまでこのままにしておいてください。

●再び、使用されるときは、水抜き栓兼安全弁①および水抜き栓②をしめ、給水元栓をあけ給湯栓から水が流れるのを確認してください。

(電源プラグをコンセントに差し込み、9～10ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください。)



凍結したときは

●凍結したときには、機器に不具合が生じる場合があります。凍結がとけたあと、水漏れや作動に不具合がないことを確認してご使用ください。

●機器や配管が破損すると、高額な修理費用がかかります。(有料)

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、必ずガス栓・給水元栓をしめ、電源プラグをコンセントから抜いて水抜きを行ってください。

(詳しくは、13ページの「水抜きによる方法」の項にしたがってください。)

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- お手入れの前にはガス栓をしめ、機器が冷えてからお手入れをしてください。
- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- フロントカバーなどははずさないでください。

点検

- 機器のまわりに燃えやすいものはありますか。
- ガス漏れ・水漏れはありませんか。
- 運転中に異常音が聞こえませんか。
- 使用中の炎は正常ですか。
- 排気口や給気口はふさがれていませんか。

定期点検について

- 機器はご使用に支障がなくても、2~3年に一回くらい、バーナや各部の作動が正常かどうか点検するのが安全に長期間ご使用いただくための「ひけつ」です。お買い求めの販売店またはよりの大阪ガス支社、サービスショップにご相談ください。

お手入れ

- 機器の表面が汚れたときは、水気を絞った布に中性洗剤を付けて汚れをふき取った後、乾いた布で十分洗剤分と水気をふき取ってください。

《ご注意》

- ・プラスチック、印刷面、塗装面のお手入れには、強力洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉などは使用しないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に普段と違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因	現象	給湯栓をあけても点火しない・点火しにくい	・消火しやす 使用中に消火した	高温の湯が出ない	使用中湯温が極端に変動する	異常な音で燃える	処置方法	参照ページ
ガス栓の開きが不十分		○		○			ガス栓を全開にする	9
配管内に空気が残っている		○					点火操作を繰り返す	9
給水元栓の開きが不十分		○	○		○		給水元栓を全開にする	9
水圧が適切でない		○	○		○		点検・修理を依頼する	—
給湯栓の開きが不十分		○	○		○		給湯栓を十分に開く	9
ガス圧が適切でない		○		○		○	点検・修理を依頼する	—
電源プラグの差し込み忘れ		○					電源プラグを差し込む	9
断水している		○					通水するまで使用を中止する	11
凍結している		○					解凍するまで使用を中止する	12-13
点火操作が適切でない		○					「使用手順(点火)」を参照	9
点火装置の故障		○					点検・修理を依頼する	—
湯温調節が適切でない				○	○		「使用手順(湯温調節)」を参照	10
安全装置の作動		○	○				点検・修理を依頼する	—
バーナの逆火						○	点検・修理を依頼する	—
銘板と使用ガスが不一致		○					点検・修理を依頼する	—

処置や原因がわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

次のような場合は故障ではありません

●最低作動水量について

機器内の通水量が最低作動水量(2.5ℓ/分)以下になったときは点火しませんので、故障とお間違いのないように、ご注意ください。

●同時給湯について

2箇所以上で同時にお湯を使用するときに、給湯配管の方法、給湯栓の開き具合によって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なることがあります。特に機器から遠い場所、高い位置の給湯栓では、お湯の出ない場合もあります。また、シャワーをご使用中に他の給湯栓を同時に使用しますと、湯温や湯量が変わりますのでご注意ください。

●お湯の白濁について

出湯直後にお湯が白く濁って見え、しばらくすると透明になることがあります。これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ大気圧まで急速に減圧されることで細かい気泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い、全く無害なものです。

●水抜き栓兼安全弁から水滴が落ちるとき

機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓から水滴が落ちることがありますが、異常ではありません。(水滴が落ち、床がぬれて困るようなときは、ビニールホースで支障のないところへ排水できるようにしてください。)

●排気口から白い煙が出るとき

冬期(外気温が低いとき)には、排気ガス中の水分が水蒸気になるために排気口から白い煙が出ることがあります。これは、人の息が白くなるのと同じ現象ですので、何ら心配はありません。

安全装置の種類とその働き

●立消え安全装置

万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

●過熱防止装置

使用中機器内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

●空だき安全装置

熱交換器が異常な温度上昇をしたときはこの安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

●過圧防止安全装置

機器の使用停止直後に熱交換器の余熱により熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、機器の故障ではありません。このような場合には床面をぬらしますので都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お問い合わせの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●凍結予防装置

12～13ページの「凍結予防方法」の項をご覧ください。

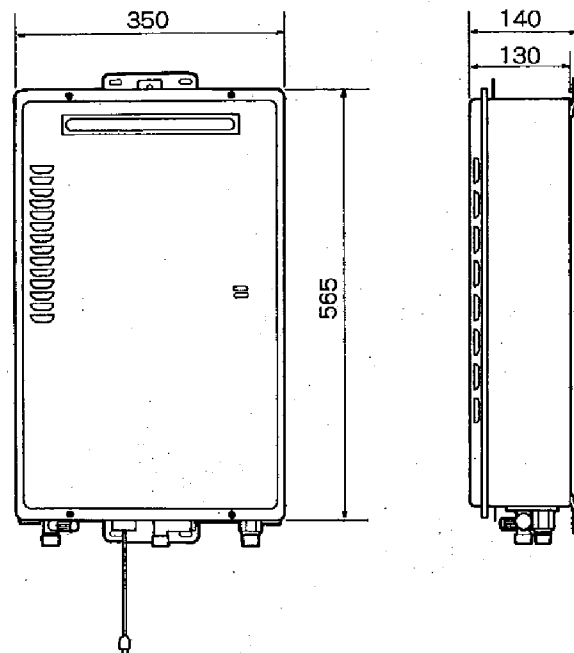
仕様一覧表

種別	33 - 440・441・442 型		
項目	型式名 PH - 16CW・16CWL3・16CWL4 - 2		
	設置方式 屋外壁掛式 (PS設置可能)		
	外形寸法 幅350×高さ565×奥行130 mm		
種類	給湯方式	先止め式	
	給排気方式	屋外用	
	重量	16kg	
接続	ガス	13A、LP・・・R $\frac{1}{2}$ (15A)	6C・・・R $\frac{3}{4}$ (20A)
	給水	R $\frac{1}{2}$ (15A)	
	給湯	R $\frac{1}{2}$ (15A)	
	電気	AC100V	
最大ガス消費量	都市ガス6C	都市ガス13A	LPガス
	30000kcal/h	30000kcal/h	2.5kg/h
消費電力	29W (凍結予防ヒータ 80W)		
点火方式	放電点火式		
給湯温度制御	比例制御		
使用水圧	0.8~10.0kg/cm ²		
最低作動水圧	0.1kg/cm ²		
最低作動水量	2.5 l/分		
安全装置	立消え安全装置・過熱防止装置・空だき防止装置 過圧防止安全装置・凍結予防装置		
付属部品	取付木ねじ・ビス (パイプシャフト内設置用)		

別売部品のご案内

- メインリモコン (4) 38 - 370
- シャワーリモコン (4) 38 - 371

寸法図



単位：mm

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 16～18ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
 - 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店またはよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。
- なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
- ①品名・・・ガス湯沸器 瞬間式
 - ②品番・・・機器正面に貼ってあります。
 - ③現象・・・できるだけ詳しく
 - ④道順・・・できるだけ詳しく

(例)

(4) 33-440 (U)

大阪ガス株式会社〇〇

転居される場合

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へご連絡ください。この場合、調整・改造に要する費用は補償期間内でも有料修理となります。

保証書について

- この機器には保証書がついています。保証書に記載のように機器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。保証書を紛失されますと、無料補償期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お求めの販売店、またはよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。
 - 補修用性能部品の最低保有期間は製造中止後10年です。
- * 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本製品と快適なくらしのために

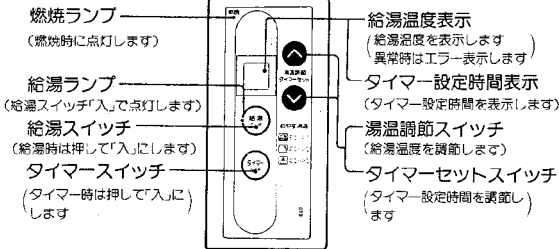


みんなで楽しく入浴しましょう!

スポーツ、行楽、仕事の後には楽しく入浴を。
1日の疲れや汗を流して、体も心もさっぱり!

各部のなまえとはたらき

特に注意していただきたいこと



使用機器について

●このリモコンは、当社適用型式機器に合致するように作られています。他社製の機器に取り付けたり、他の目的で使用したりして生じたフレームには応じかねますので、ご注意ください。

設置について

- リモコンの取付けはお求めの販売店に依頼し、正しく取り付けてください。
- ご使用中に裏面「工事説明書」を参照して、設置上の安全をご確認ください。



ご使用前に

- このリモコンを使用する前に、必ず機器本体の取扱説明書をよくお読みになつてください。

お手入れ

- リモコンには電気部品が入っていますので、ぬらさないように乾いた布か水気をかたく絞った布で軽くふいてください。
- ※強力洗剤、シンナー、ベンジン、あがき粉などは使用しないでください。

- 機器本体の取扱説明書とあわせてご覧ください。
- 機器本体の結水元栓・ガス栓を完全に閉じ、電源プラグをコンセントに差し込みます。

使いかた
給湯

タイマー

湯温設定

給湯スイッチを押します (給湯ランプが点灯します。給湯スイッチ「入」)

給湯温度が表示されます。

湯温調節スイッチでご希望の湯温に設定します (37~46℃の間1℃ずつ連続的に変わります) 48, 50, 55, 60, 75℃に調節可能)

↑を押すとあつく ↓を押すとぬるくなります。

※給湯からの出湯温度は、設置条件(季節、配管長さ等)で異なります。表示の温度は、めやすとしてお使ください。

●シャワーリモコン使用時はメインリモコンでの湯温調節はできません。メインリモコンの燃焼ランプが点滅し、シャワーリモコン優先中であることをお知らせします。

この際、メインリモコンの温度表示は消灯しています。

●この場合の出湯温度はシャワーリモコンで設定した湯温になります。(シャワーリモコン優先機能)

●シャワーリモコンの給湯スイッチを「切」にすればメインリモコンでの湯温調節ができます。

さらに便利な追加機能!

給湯機能とは別に、タイマーとしてもお使いいただけます。お風呂へのお湯張りやお料理等、指定した時間にプザーでお知らせします。

湯温停止

給湯栓をあけると、出湯します

燃焼ランプが点灯します。

- 湯温調節スイッチまたは混合水栓にて湯温調節してください。
- 給湯栓を絞るすぎると消火します。(燃焼ランプ消灯)
- 2ヵ所以上でお湯を同時使用したり、折衝的に使用すると湯温が不安定になるとおがります。

給湯栓をしめると、消火します

燃焼ランプが消えます。

- 給湯スイッチを再度押すと「切」(給湯ランプ消灯)になります。
- 停電、断水時は運転を停止し、給湯栓をしめておいてください。(通電後はスイッチが切になっています。)

- 水温の高い季節に、低温のお湯を少量使うとすると湯温が高くなります。出湯量を多くすれば、湯温は安定します。
- 給湯栓を全開で使用すると、高温のお湯にならないことがあります。このときは給湯栓を高温のお湯になるまで絞ってお使いください。
- 約75℃にして混合水栓を使用すれば、給湯温度の幅が広がって使用できます。

タイマーのみ使用する場合

タイマースイッチを押します (例) 0分

タイマー設定時間が表示されます。

タイマーセットスイッチでご希望の時間に設定します (1分間~99分間まで設定可能。この間1分ずつ連続的に変わります。)

設定後15秒以内にタイマースイッチを再度押します

タイマー表示が点滅し、タイマースタートします。

- 表示は残り時間を示します。(例) 12分
- 途中でタイマー停止する場合は、タイマースイッチを押して「切」にしてください。

終了時間になると、プザー(15秒間)でお知らせします (プザー中にタイマースイッチを押すとプザーを止めることができます。)

- プザー終了後、表示は「切」の状態になります。

給湯時にタイマーを使用する場合

タイマースイッチを押します (例) 15分

給湯温度表示からタイマー設定時間表示に変わります。(以降の操作のし方は「タイマーのみ使用する場合」と同じ) して。

タイマーがスタートしてから5秒後に表示は、給湯温度表示になります (タイマー表示は点滅し続け、タイマー作動中であることを示します。)

- 途中でタイマースイッチを押すと、表示は5秒間、タイマー設定時間表示に変わり、残り時間を知ることができます。
- 途中でタイマー停止する場合は、タイマー設定時間表示中にタイマースイッチを押して「切」にしてください。

終了時間になると、プザー(15秒間)でお知らせします (プザー中にタイマースイッチを押すと、プザーを止めることができます。)

- 表示はいったんタイマー終了表示に変わり、再び給湯温度表示にもどります。

安全装置が作動したときの処置方法

アフターサービス

- 故障かな?と思われたときは、必ず機器本体の取扱説明書とあわせてご覧ください。
- ご使用中に安全装置が作動して運転を停止した場合は、燃焼ランプが点滅し、給湯温度表示がエラー表示に変わり、異常警報を表示します。給湯栓をしめ、「リモコンのスイッチを「切」にして再度出湯操作してください。
- それでも直らない場合は、ガス栓・給水元栓をしめ、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店、または大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。(エラー表示番号をお知らせください。)

サービス(点検・修理)を依頼されるとき

機器本体の取扱説明書をご覧になり、もう一度ご確認ください。

- ▶アフターサービスをお申し込みのときは次のことをお知らせください。
 - リモコンの品名
 - 現象(できるだけ詳しく)
 - 給湯器の型番
 - ご住所・ご氏名・電話番号・差原
- ※当社は当該製造中止後、7年を基準に補償用性能部品を保有しております。



点滅回数	エラー表示	異常内容	処置
連続	12	不燃火・途中失火(立消え安全装置の作動)	●ガスの供給が不十分なときに作動することがあります。(ガス栓は全開になっていますか)
1	61	ファンモーター異常	
2	71	電磁弁回路異常	*点検・修理が必要です。
3	72	フレームロッド異常	
4	14	空だき安全装置・過熱防止装置(温度ヒューズ)の作動	●機器が冷えるのを待ってから(約3分)、出湯操作してください。
5	51	元電磁弁異常	*点検・修理が必要です。
6	51	電磁弁異常	

連絡先

アフターサービスの依頼、補償用性能部品についての詳細、その他ご不明の点は、お買い求めの販売店または最も近い大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター

大阪ガス株式会社

〒545 大阪市東淀川区西中島4-7-2 電話 06(262) 2221

東京 支社 〒527 大阪東淀川区西中島2丁目10番1号 電話 06(655) 0901

北支 支社 〒532 大阪東淀川区西中島3丁目1番1号 電話 06(306) 1251

南支 支社 〒550 大阪市東淀川区西中島2丁目2番2号 電話 06(572) 1131

東支 支社 〒553 大阪市東淀川区西中島3丁目5番5号 電話 07(570) 0381

西支 支社 〒552 大阪市東淀川区西中島4丁目1番1号 電話 07(582) 2021

東支 支社 〒558 大阪東淀川区西中島4丁目1番1号 電話 07(582) 1131

京支 支社 〒592 大阪府東淀川区西中島1番1号 電話 07(543) 5251

神戸 支社 〒650 神戸市東灘区西宮町1丁目10番1号 電話 07(574) 1231

京都 支社 〒604 京都府東淀川区西中島3丁目1番1号 電話 07(324) 8111

新潟 支社 〒951 新潟市東区西中島2丁目4番1号 電話 07(443) 8111

群馬 支社 〒360 群馬市東区西中島1丁目5番5号 電話 07(618) 8111

千葉 支社 〒560 千葉市東区西中島4丁目8番5号 電話 07(562) 2221

福岡 支社 〒815 福岡市東区西中島2丁目20番1号 電話 07(821) 1301

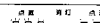
岡山 支社 〒700 岡山市東区西中島1丁目7番2号 電話 07(821) 2221

広島 支社 〒733 広島市東区西中島6丁目1番1号 電話 07(562) 5111

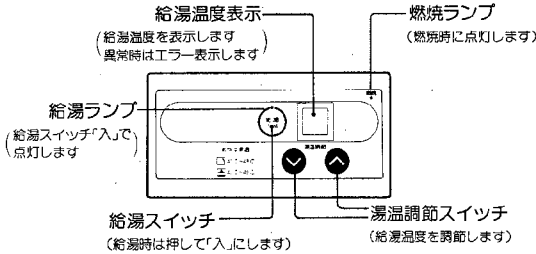
長崎 支社 〒852 長崎市東区西中島3丁目4番5号 電話 07(642) 7171

※その他支社サービスセンター、およびサービスショップ

(例) 点滅3回…フレームロッド異常の場合



各部のなまえとはたらき



特に注意していただきたいこと

使用機器について

●このリモコンは、当社適用型式機器に合致するように作られています。他社製の機器に取り付けたり、他の目的に使用したりして生じたクレームには応じかねますので、ご注意ください。

設置について

- リモコンの取付けはお求めの販売店に依頼し、正しく取り付けてください。
●ご使用前に裏面「工事説明書」を参照して、設置上の安全をご確認ください。



ご使用前に

●このリモコンを使用する前に、必ず機器本体の取扱説明書をよくお読みになつてください。

安全装置が作動したときの処置方法

- 故障かな?と思われたときは、必ず機器本体の取扱説明書をお読みください。
●ご使用中に安全装置が作動して運転を停止した場合は、燃焼ランプが点滅し、給湯温度表示がエラー表示になり、異常箇所を表示します。給湯栓をしめ、リモコンのスイッチを「切」にして再度出湯操作してください。
●それでも直らない場合は、ガス栓・給水元栓をしめ、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店、または大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。(エラー表示番号をお知らせください。)

使いかた

- 機器本体の取扱説明書をお読みください。
●機器本体の給水元栓・ガス栓を全開にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

湯温設定

給湯スイッチを押します (例) 42°C
給湯ランプが点灯します。(給湯スイッチ「入」)
給湯温度が表示されます。
湯温調節スイッチでご希望の湯温に設定します (37~46°Cの間1°Cずつ連続的に変わります)48, 50, 55, 50, 75°Cに調節可能)

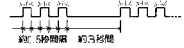
湯温調節
↑ を押すとあつく
↓ を押すとぬるくなります。

- *給湯栓からの出湯温度は、設置条件(季節・配管長さ等)で異なります。
●温度表示はめやすとして、シャワーを使うときは必ず手で湯温を確認してください。
●シャワーリモコン使用時はメインリモコンでの湯温調節はできません。メインリモコンの燃焼ランプが点滅し、シャワーリモコン優先中であることをお知らせします。この時、メインリモコンの温度表示は消灯しています。
●この場合の出湯温度はシャワーリモコンで設定した湯温になります。(シャワーリモコン優先機能)
●シャワーリモコンの給湯スイッチを「切」にすればメインリモコンでの湯温調節ができます。



Table with 4 columns: 点滅回数 (Flashing count), エラー表示 (Error display), 異常内容 (Abnormal content), 処置 (Disposal). Rows 1-6 list various error codes and their corresponding actions.

(例) 点滅3回...フレイムロッド異常の場合



アフターサービス

サービス(点検・修理)を依頼されるとき

機器本体の取扱説明書をご覧ください。もう一度ご確認ください。

▶アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。

- リモコン品名
●給湯器型式番
●現象(できるだけ詳しく)
●ご住所・ご氏名・電話番号・道順

*当社は当製品製造中止後、7年を基準に補修用性能部品を保有しております。



連絡先...アフターサービスの依頼、補修用性能部品についての詳細、その他ご不明の点は、お買い求めの販売店またはもりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

Table listing service centers and phone numbers across various regions including Osaka, Kyoto, and other prefectures.

大阪ガス株式会社

お手入れ

リモコンには電気部品が入っていますので、ぬらさないように乾いた布か水をかたかく拭いた布で軽くふいてください。

*強力洗剤、シンナー、ベンジン、あびる粉などは使用しないでください。

出湯・出湯停止

給湯栓をあけると、出湯します

開(点火) 燃焼ランプが点灯します。
開(消火) ●湯温調節スイッチまたは混合水栓にて湯温調節してください。

- 給湯栓を絞らずにそのまま消火します。(燃焼ランプ消灯)
●2カ所以上でお湯を同時に使用したり、断続的に使用すると湯温が不安定になることがあります。

給湯栓をしめると、消火します

- 燃焼ランプが消えます。
●給湯スイッチを再度押すと「切(給湯ランプ消灯)」になります。

●停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓をしめておいてください。(通電後はスイッチが「切」になっています。)

- 水温の高い季節に、低温のお湯を少量得ようとするとき湯温が高くなります。出湯量を多くすれば、湯温は安定します。
●給湯栓を全開で使用すると、高温のお湯にならないことがあります。このときは給湯栓を高温のお湯になるまで絞ってお使いください。
●約70°Cにして、混合水栓を使用すれば、給湯器の能力いっぱいまで使用できます。